府政記者室・南丹広域振興局・中丹広域振興局・経済記者クラブ・
青灯クラブ・近畿電鉄記者クラブ　同時資料配付

ＪＲ嵯峨野線ラッピング電車「森の京都ＱＲトレイン～Quality and Relaxing Train～」の完成お披露目及び出発式について

令　和　３　年　３　月　５　日
京都府政策企画部企画参事
西日本旅客鉄道株式会社
森　の　京　都　ＤＭＯ

「森の京都」エリア（亀岡市、南丹市、京丹波町、福知山市、綾部市及び京都市右京区京北）の持つ魅力を府内外へ発信し、「森の京都」の知名度向上及び近隣地域からの誘客を図るため、この度、車両外装及び内装をすべて「森の京都」デザインで統一したラッピング電車をＪＲ嵯峨野線等において運行することとなりました。

令和３年３月１３日（土）の運行開始に先立ち、以下のとおり完成お披露目及び出発式を行いますので、取材いただきますようお願いいたします。

■ラッピング電車について

【名　称】 森の京都ＱＲトレイン～Quality and Relaxing Train～

（「森の京都」の上質なコンテンツ（自然・食・文化）をイメージした「Quality（上質な）and Relaxing（くつろいだ気分にさせる）」と、車内で情報発信手法として活用するQRコードに掛けて表現）

【特　徴】 外 装：「森の京都」のコンセプトカラーである茶・黒・金をベースに、エリアを象徴する花・木・鳥をモチーフにした柄を配置

内 装：中吊りポスター、窓上ポスター、つり革等を「森の京都」エリアの伝統産業や暮らしに着目したデザインや素材で統一し、ＱＲコードの活用により、「森の京都」の情報を発信

■完成お披露目及び出発式について

１　日　時　令和３年３月１２日（金）
【出　発　式】１０：０５～１０：２０
【内覧・試乗】１０：２８出発～１０：４７到着［臨時列車（一般乗車不可）］

２　場　所　【出　発　式】ＪＲ亀岡駅４番ホーム上（亀岡市追分町谷筋１－１）
【内覧・試乗】ＪＲ亀岡駅４番ホーム出発～ＪＲ京都駅３１番ホーム到着

３　内　容（予定）
主催者挨拶　京都府知事　西脇　隆俊
来賓祝辞　京都府議会議長　田中（たなか）　英夫（ひでお）
来賓紹介
テープカット　知事、府議会議長
西日本旅客鉄道株式会社執行役員近畿統括本部京都支社長　若菜（わかな）　真丈（まさたけ）
森の京都DMO社長　渡邊（わたなべ）　晃（あきら）
内覧・試乗　ＪＲ亀岡駅～ＪＲ京都駅（関係者及び報道機関のみ）

（裏面あり）

４　その他

・取材いただける場合は、別添の取材申込書に必要事項をご記入の上、３月１０日（水）１５時までにＦＡＸまたはメールにてお申し込みください。
［宛　先］京都府政策企画部企画参事（南部担当）
［ＦＡＸ］０７５－４１４－４３８９
［E-mail］kikaku-nanbu@pref.kyoto.lg.jp

・臨時列車のため、関係者及び報道機関以外は乗車できません。また、京都駅以外は停車しませんので、ご注意ください。

・時間は短いですが、亀岡駅と京都駅で外観を撮影する時間がございます。

・取材中は、マスクと各社の腕章の着用をお願いします。

【参　考】

○　**運 行 期 間**　令和３年３月１３日（土）［ダイヤ改正日］～３年（予定）

○　**導 入 車 両**　２２３系統４両編成

○　**主な運行エリア**　ＪＲ嵯峨野（山陰）線＝京都駅～胡麻駅間

※都合上、他の路線を運行する可能性があります。
また、特急ではなく普通列車のため、運行ダイヤは未定です。

○　**問い合わせ先**

名　　称	電話番号
京都府 政策企画部 企画参事（南部担当）	０７５－４１４－４５１３
西日本旅客鉄道(株) 近畿統括本部 総務課(広報)	０６－７６６８－７０１２
森の京都ＤＭＯ	０７７１－２２－９８００

取材申込書

京都府政策企画部企画参事（南部担当）宛
ＦＡＸ：０７５－４１４－４３８９
E-mail：kikaku-nanbu@pref.kyoto.lg.jp

取材いただける場合は、お手数ですが、必要事項をご記入の上、３月１０日（水）１５時までに、FAX またはメールにてお申し込みください。当日の詳細は、申込後にご連絡します。

ＪＲ嵯峨野線ラッピング電車
「森の京都ＱＲトレイン～Quality and Relaxing Train～」完成お披露目及び出発式

日　　時：令和３年３月１２日（金）１０時０５分～
場　　所：ＪＲ亀岡駅４番ホーム上
集合時刻：９時４５分
集合場所：亀岡駅改札口前

■貴社名	
■媒体／番組／所属	■人数 名
■氏名	
■同伴者氏名	
■連絡先 電話:　　E-mail：	
■カメラ有無 □有　　□無	
＜備考欄＞ご質問等がありましたら、ご記入ください。	

※ご記入いただいた個人情報は、本取材の出欠確認のために使用し、適切に取り扱います。